

2023年度事業計画書

自 2023年 4月 1日
至 2024年 3月 31日

公益財団法人 京都服飾文化研究財団

(1) ミッション

世界の衣服・装身具・下着等の収集・保存・公開を行うとともに、調査・研究・教育活動を通じて、我が国の服飾文化の醸成とファッション産業の発展に貢献する。

■「公益財団法人としてのKCIの役割」

- ①西洋服飾・装身具・下着等及びこれらに関連する資料などを【収集・修復・保存】することによって、人類の貴重な文化遺産としてのレガシーを次の世代に伝承していきます。
- ②国内外で展覧会を開催することで広く一般に【公開】し、服飾やファッションへの興味関心を高めるとともに文化やアートとしてのファッションの価値を高めていきます。
- ③収集資料に基づく服飾及び文化の関連について【調査・研究】を行い、広く研究成果を発表していくことで我が国のファッション及びファッション産業の発展に貢献します。
- ④ファッション及び関連する歴史文化等の研究を教育・研究機関と行い、研究者・学芸員の育成をするとともに、我が国のファッション産業を支える次世代の人材の【育成・教育】を行います。
- ⑤海外美術館等との連携協力と、これに基づく【国際文化交流】を推進していきます。

(2) 活動方針

■ 運営体制

- ① デジタル技術を活用した発信力の強化及び対外的な認知促進
- ② 2024年特別展での入場者拡大・協賛企業獲得や基本財産の運用見直しなど収益面の強化
- ③ 開設50周年(2028年)を見据えた学芸員及び保存修復技術者の育成

■ 収集と保存・研究

- ① 2024年特別展及び国内外美術館との合同企画展開催のための調査・研究
- ② 中長期事業計画立案のための調査・研究
- ③ 研究テーマ(2024年度特別展及び合同展)に絞り込んだ作品収集
- ④ 優先度の高い収蔵品に対する補修業務の強化
- ⑤ 収蔵庫内環境の安定的維持のための対応

■ 公開

- ① 内外の美術館と合同企画した展覧会の開催
- ② ホームページなどでデジタル技術を活用した収蔵品及び研究成果の公開事業の推進

(3) 事業計画

■KCIギャラリー

- ①「名前のない服～ヘルムート・ラング寄贈品より」 2023年1月30日(月)～4月28日(金)
- ②「衣服のかたち(仮)」 2023年5月～8月
- ③未定 2023年9月～12月
- ④未定 2024年1月～4月

■デジタル技術を活用した収蔵品及び研究成果の更新および増補

- ①KCIホームページでの公開情報の更新および増補
- ②収蔵品データベースにおける収蔵品情報の整備(資料のデジタルアーカイブ化の推進)
- ③インスタグラム等、SNSを用いた活動や収蔵品に関する情報発信
- ④KCIスタディ・ルームでの衣装収蔵品データベースの公開
- ⑤一般公開型デジタル・アーカイブス「KCI Fashion Archives」の公開及び収録作品の増補
- ⑥「Google Arts & Culture」への収蔵品情報提供及びWEB上で公開

(3) 事業計画

■ 収集

- ① 特別展に必要な服飾・装身具を中心に収集
- ② 図書・文献・版画等服飾文化とその社会背景の研究に必要な資料の収集

■ 保存・補修

- ① 収蔵庫内環境の安定的維持・管理
- ② 新規収集品等のコンディション記録及び防虫・防黴対策
- ③ 収蔵品の補修

■ 調査・研究活動

- ① 科研費(日本学術振興会科学研究費助成事業)
「19世紀後半から20世紀初頭における日仏製の絹織物品についての基礎研究」/周防珠実
各研究員の研究に対する各種助成金申請
- ② 2024年特別展の出展候補品に関する調査・研究
- ③ 国内美術館との共同研究調査
- ④ 学術研究誌への研究論考の投稿など

(3) 事業計画

■教育・育成

①大学等における講義

- ・同志社大学 講義「デザイン理論Ⅱ」
- ・嵯峨美術大学 講義「ファッションデザイン論」

- ・京都精華大学 講義「ファッション史」
- ・京都芸術大学「空間演出デザイン概論Ⅱ・Ⅲ」

②シンポジウム・講演・研究会への参加

③学芸員資格取得博物館実習(8月21日～8月25日の5日間)

公募審査による8名程度を予定

④キュレーター及びレストアラー(修復技術者)の育成

■研究誌・広報誌発行

①研究誌『Fashion Talks...』 1回発刊

②広報誌『服をめぐる』 3回発行

③他学術研究誌、一般服飾関連誌への寄稿

■ワコール関連

①スパイラルやワコール企画部門との協業等